

## 令和2年度第1回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日 時	令和2年6月29日(月) 13:30~15:00
会 場	茂原市役所 502会議室
出席委員	中山会長、平井副会長、青木委員、中瀬古委員、齊田委員、篠田委員、長島委員、佐藤委員、佐野委員、小枝委員、鬼島委員、田丸委員、荒谷委員
関係課	岩瀬教育部長、渡辺教育部次長兼教育総務課長、金澤学校教育課長、金坂主幹、安藤学務係長
事務局	関屋福祉部長、花沢福祉部次長兼社会福祉課長、中澤子育て支援課長、齊藤課長補佐、岡沢子育て家庭相談室長、時田主事
傍聴者	1人
配布資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料1-1 第4章 第1節 幼児期の学校教育・保育の見込量と確保策</li><li>・資料1-2 第4章 第2節 地域子ども・子育て支援事業の見込量と確保策</li><li>・資料1-3 第5章 分野別施策の推進</li><li>・資料2 ほのおかこども園に係る利用定員の設定について</li></ul>

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 議 事
  - (1) 令和元年度茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
  - (2) ほのおかこども園に係る利用定員の設定について
- 5 その他
- 6 閉 会

### 会議要旨

#### (議事)

- (1) 令和元年度茂原市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

<事務局から、資料1-1、1-2、1-3に基づき説明>

(委員)

先日、生後 5 か月の孫を預かることがあったのですが、もし急に孫の体調が悪くなった場合や、今後、私も預かれない状況となった場合にどこに相談するべきなのか分からず、子育てに対する様々な不安を感じました。

また、資料 1-2 事業番号 10 病児保育事業について、令和元年度末で宮本内科医院の病児・病後児保育事業が終了したとありますが、市内で実施している病院がなくなってしまうことに不安を感じます。事業が終了した理由について伺います。

(事務局)

宮本内科医院の病児保育事業が終了した理由については、保育士の確保が困難となったことが主な要因であると伺っております。

(委員)

保育士の確保が困難となった要因を明確にして、改善に力を入れるべきだと思います。

(委員)

どの自治体でも保育士不足が問題となっており、保育士資格のある方が求められています。保育士の給与は、国で定められている基準により額が定められているため、自治体がかせする補助の程度によって額に差が生じています。財源のある自治体ほど待遇が良いため、より保育士を確保しやすい状況となっています。

(委員)

資料 1-2 事業番号 7 ファミリー・サポート・センター事業について、依頼会員と提供会員のマッチングが成約しなかったとありますが、依頼会員のニーズとしてどのようなものがあるのか伺います。

(事務局)

主な活動内容としては、塾等への送迎や依頼会員宅での預かりと伺っています。また、マッチングが成約しなかった具体的な理由については、提供時間等の不一致によるものと思われませんが、今後検証していきます。

(委員)

依頼会員のニーズとしては、学童クラブや塾への送迎が最も多く、続いて保護者の用事やリフレッシュ等を目的とした預かりとなっています。

(委員)

学童クラブの支援員がファミリー・サポート・センター事業の提供会員となり、学童クラブの終了時間以降も子どもを預かってもらいたいといった意見が学童クラブの利用者から寄せられています。学童クラブの支援員に対して、提供会員として登録をしてもらいたいと呼びかけをすることで、事業の拡充が図れるのではないかと考えます。

(委員)

資料 1-2 事業番号 6 子育て短期支援事業について、総合評価を「C」とした理由を伺います。

(事務局)

市内の児童養護施設や保育所等での実施については、現状では困難と考えております。

なお、本事業は保育士や里親の居宅で実施することも可能ですが、その点について具体的な調査や検討の実施に至っていないことから、総合評価は「C」としています。

(委員)

病児保育事業について、実施要件として保育士や看護師等の配置基準が定められており、事業者の負担が大きい事業だと感じます。

また、資料 1-3 事業 15 乳幼児健康診査の実施について、生後 3～6 か月、9～12 か月の乳幼児だけではなく、7～8 か月の乳幼児を対象とした受診票も発行していただきたいと思えます。千葉県内では、7～8 か月の乳幼児を対象として受診票を発行している自治体もありますので、参考にしていきたいです。

(委員)

認定こども園の整備にあたって開催している三者協議会についてですが、構成員となっている保護者の選出方法について伺います。

(事務局)

ほのおかこども園の保護者代表の選出にあたっては、本納保育所及び豊岡幼稚園の保護者から立候補により 2 名の代表者をそれぞれ選出いたしました。また、三者協議会での協議結果については、本納保育所・豊岡幼稚園の保護者全員へ文書を配布し、周知しています。

(委員)

資料 1-2、1-3 における総合評価については、自己評価なのか第三者や事業利用者による評価なのか伺います。

(事務局)

総合評価については、自己評価となっています。

(委員)

保育士不足についてですが、保育士として勤めている方が子どもを出産した際、仕事と家庭を両立できる環境が整備されていないために職場を退くことになってしまうことが一つの要因なのではないかと思えます。市内でも保育士の資格を持っている方は多く存在すると思えますが、子育てをしながら保育士として従事することは難しいと考えます。

また、茂原市は他の自治体と比較して子育て支援制度が劣っていると感じる部分があります。各事業について、どうすれば改善されるのか考えていく必要があると思えます。

## (2) ほのおかこども園に係る利用定員の設定について

<事務局から、資料2に基づき説明>

(委員)

認可定員の定義について伺います。

(事務局)

認可定員とは、県から特定教育・保育施設の認可を受けるにあたっての定員数です。

(委員)

令和3年度のほのおかこども園における1号認定の利用者数の見込みを伺います。

(事務局)

現在の豊岡幼稚園の3・4歳児クラスの在園児数は約30名となりますが、新規入園児数については、見込みを算出することは困難と考えます。

(その他)

(事務局)

令和2年6月議会におきまして「茂原市保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」を上程し、可決されましたのでご報告させていただきます。

改正内容につきましては、ほのおかこども園と（仮称）南部認定こども園の整備に伴い令和3年3月末をもって統廃合の対象となる本納保育所と五郷保育所を閉所するものです。

(事務局)

最後に事務局より事務連絡をさせていただきます。

本日の議事録を後日郵送させていただきますので、お手数ですが内容をご確認いただき、ご意見等がございましたら子育て支援課までご連絡をお願いします。ご確認いただいたのちに市ウェブサイトにて公表したいと考えております。

また、次回の審議会の日程ですが、現時点では未定となっております。開催が決まり次第ご連絡をさせていただきます。

(閉会)

(事務局)

長時間にわたり慎重なご審議を頂き、ありがとうございました。以上をもちまして「令和2年度第1回茂原市子ども・子育て審議会」を閉会させていただきます。お疲れ様でした。